



さきばる

さいごまで さいあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

未来圏からの風 校長 長崎 克則

令和2年度 奄美市立崎原小中学校 学習発表会スローガン



吹き募る 未来への風 ～みんな笑顔に変えて～

上に本年度の学習発表会スローガンを紹介させていただきました。私はこのスローガンのある言葉を見たときに、とても好きな言葉を連想しました。それは、【未来からの風】という表現です。

みなさんもお気づきかもしれませんが、宮沢賢治の作品の中に【未来圏からの風】という言葉が使われているものがありますね。

この作品は宮沢賢治が亡くなった後、空襲で焼け残った資料の中から弟さんの手によってメモが発見され、亡くなって13年後に詩として発表されたそうです。

その作品（メモ）の中で、賢治は【未来圏からの風】をどのように表現したのでしょうか。

まず【**颯爽たる**】という形容詞が使われます。次に【**透明な 清潔な風**】という表現が続きます。そこで、私たちには、爽やかで快適な、心地よい風のイメージが湧いてきます。

そして、以下のように続きます。
【それは一つの送られた光線であり決せられた南の風である。】
この一文は、私たちに賢治の張り詰めた意志、あるいは強い信念を感じさせます。

また、この詩のメッセージの中で現代と共通している部分があります。それは、「異常気象や食糧難、争いなど人類がずっと抱えてきた不安や心配は、コロナ禍とも言われる現在までずっと継続していた。」ということです。

賢治はそのような人類にとっての不安や心配を乗り越えることができる方法について、芸術や学問を通して自然の力を用い尽くすことも説いたうえで、次のように投げかけます。

【**むしろ諸君よ 更にあらたな正しい時代をつくれ**】と。

最後に質問です、賢治に【**更にあらたな正しい時代をつくれ**】と未来を任されたのは、どのような人たちなのでしょう。

答えは、この詩のタイトルになっています。気になられた方は図書館・図書室で調べてみてください。御家族で考えてみるのも素敵だと思いますよ。

11月20日(金)

「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間をもちましよう。

さきばるころへ いもりんしよれ

来週から11月。今年度も県民週間の時期がやって来ました。期間中の取組といたしましては、「自由参観」や「心の教育の日」（全学級での道徳授業の公開）、「読書祭り」などを計画しています。ぜひ、崎原校へお越しいただき、元気な子どもたちの姿をご参観下さい。

地域がはぐくむ「かごしまの教育」県民週間

令和2年11月2日(月)～6日(金)

10/25(日) 学習発表会 9:50～11:35	11/2(月)～6(金) (土・日・祝日を除く) 自由参観 8:30～16:00 ※11/2(月)は15:00まで
11/2(月) 「心の教育の日」参観 14:00～14:50	11/14(土)読書祭り (10:40～11:25)

この期間に、多くの方々に参校頂き、一生懸命学習に取り組む子どもたちの様子をご参観頂きたいと思っております。また「崎原校の教育」について、共に考える機会になればと思います。職員一同、心よりお待ちしております。
※ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策のため、検温、手指消毒、マスク着用での来校をお願い致します。

奄美市立崎原小中学校 ☎ 0997-52-9900

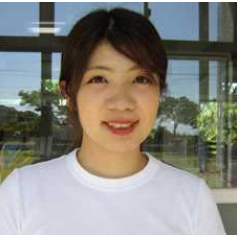
体感することからパソコン操作へ ～プログラミング教育～

IT化・グローバル化が急速に進む現代社会において、求められるスキルの一つに、「社会課題をITを使って解決する論理的思考能力」があります。今年度より、小学校においては、こうしたスキルを育てるためにプログラミング教育が、算数や理科、総合的な学習の時間に位置づけられています。本校においても、各学年がプログラミング教育を進めているところですが、先日、小学校2年生がプログラミングに取り組んでいましたのでご紹介いたします。

「プログラミングを知って、プログラミングをうごかしてみよう」を学習課題に授業が進められ、まずは「前に1歩進む」「右を向く」など、友だちの命令によって、実際に紙の上を自分自身が歩くことを体験し、そのイメージでパソコンの専用ソフトを使ってプログラミングに挑戦していました。小学校2年生の二人が、先生の指示に従い、パソコン上で命令し、(パソコン入力)、アイテムを動かすことができていました。パソコンのワープロ機能だけでなく、様々な活用術を子どもたちは学んでいるようです。論理的思考力を育む貴重な時間でした。

転入職員のご挨拶(中学校 英語科 講師)

初めまして、10月から崎原中学校で英語を担当することになりました。手島加奈子(てじまかなこ)です。昨年ワーキングホリデー制度を利用して1年間カナダに滞在していました。



赴任して、まず初めに思ったことは「崎原の子どもたちは日本一素晴らしい」ということです。こんなにも素直で優しくて礼儀正しくて、学習にも一生懸命取り組む子どもは見たことがありません。お世辞でも何でもなくて、本気でそう思いました。そんな子どもたちに出会えた、この「ご縁」に感謝しながら過ごす毎日です。中学校教諭として英語を教えるのは初めてですが、試行錯誤しながら子どもたちの英語力を鍛えているところです。ユニークな中学生5人に「喝」を入れながらも、笑いの絶えない時間となっています。

これからはチーム崎原として職員のメンバーに加わり、子どもたちと教育活動を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



11月の行事予定

- 11/2 (月) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間 自由参観 ～6日
- 11/5 (木) 実力テスト(中3)
- 11/6 (金) 実力テスト(中3)
- 11/9 (月) 小3・4年研究授業 (小・中の連携 外国語活動)
- 11/10 (火) 読書月間の活動(読み聞かせ) 歯科検診(14:20～) 児童生徒会役員改選・任命式
- 11/13 (金) 社会科見学(小学校) 大島紬着付け体験(中学校) 数学検定(16:30～)
- 11/14 (土) 土曜授業 読書祭り(小中3校時)
- 11/16 (月) いきいき生活ウィーク～22日
- 11/17 (火) 炭作り調べ学習発表(小5・6年)
- 11/18 (水) 校内英語スピーチコンテスト(中)
- 11/20 (金) 親子読書の日
- 11/22 (日) 炭づくり(木の伐り出し)
- 11/24 (火) 炭作りプレゼン発表(中学校)
- 11/26 (木) 税に関する絵はがきコンクール表彰式(校長室)
- 11/27 (金) 炭づくり(火入れ準備・火入れ)

金久中 前堀先生 崎原小で他校種研修

「他校種において、授業や生徒指導等の実際を体験することを通して、他校種の児童生徒の実態を理解し、校種間の連携を深めるとともに、自らの校種の教育活動に生かすこと」をねらいに、金久中学校の前堀澄史先生が、本校で他校種研修を行いました。小学校での授業参観・授業サポートを中心に、日頃、指導している中学生とは違う小学校や複式授業のスタイルや行事運営等に触れる2日間となりました。前堀先生は崎原在住で、運動会や学習発表会等の学校行事をはじめ、地域行事等にも積極的に参加していただいております。前堀先生に、研修を終えての感想を聞いてみました。



【研修を終えての感想】 金久中学校 前堀 澄史
子どもたちが生き生きと学習している姿を見ることができ、心が洗われた2日間でした。小中併設校ならではの様子を知ることができ、よい研修になりました。ありがとうございました。

